



10月28日(土)、第2回の“さぼねっとまつり”を開催することができました。スタート直後から、あいにくのお天気でしたが、普段あんずを利用している子ども達とご家族ご友人、地域の皆さん、関係機関の皆さん260名余りにご来場いただき、とても賑やかな時間となりました。雨雲も「ちょっと出番がないか…」と遠慮せざるを得ないくらい、ワイワイ笑顔と歓声と歌声の響いた一日でした。ゲームコーナーや段ボール迷路は、子ども達の並びの列が途切れませんでしたね。

そして今年も、保護者の方々にたくさん花を添えていただきました。ハンドメイドコーナーは、昨年以上に商品が並び、まさに「すごい！」のひと言。皆さんにもたくさんお買い上げいただきました。午後のお母さんによるコンサートは、素敵な音色と子ども達の絶唱に、そっと目を閉じたくなるホッコリ感に包まれていました。午前中のアンディの福話術は、不思議なおもしろさに、前のめりになる子が続出。きっとまたどこかで会えますよ。

食べ物飲み物コーナーでは、地域の“りとるほっと”さん“メモルス”さん“増田屋”さん、白倉さんにご協力いただき、本当にありがとうございました。

来年の“さぼねっとまつり”でも、このつながりの輪が、より強く大きく感じられるよう、皆さんと一緒に、あんずの一日一日を充実させていきたいと思ひます。



—11月・12月の予定—

- 11月10日(金) 地域連携日(児童・放デイ共にお休みです)
- 11月16日(木) プリンクラス遠足(児童)
- 11月21日(火) ST(児童)
- 11月28日(火) プリンクラス遠足(児童)
- 11月30日(木) ドクターNの医療相談(14~16時)
- 12月13日(水) マカロンクラス遠足(児童)
- 12月15日(金) ST(児童)
- 12月28日(木) ~1月4日(木) お正月休み
(児童・放デイ共にお休みです)

＝お知らせ＝

《県民の日について》



*11月14日(火)の県民の日。あんずは、児童発達支援も放デイも通常通り行います。お間違えのないようにお願いします。

《地域連携日について》

*11月10日(金)は地域連携日になります。児童・放デイ共にお休みになります。幼稚園3か所、学校2校に訪問予定です。お子さんの姿の見学と、先生方との話し合いの時間を設けていきます。今後の支援につなげていけるよう有意義な時間にしたいと思います。

《年末年始のお休みについて》

*年末は、12月27日（水）が、児童・放デイ共に最終日になります。

*年始は、1月5日（金）から始まります。お間違えのないようご確認ください。



マカロンクラスの10月あれこれ

運動会、秋祭りと併用先での大きなイベントを経験した10月…
本番の日を迎えるまでの日々もまた、大きな力に変わったのではない
かなと思います。ドキドキもワクワクも笑顔も涙も、子ども達には大切ですね。

マカロンクラスの活動のひとつ巧技台運動!!物に合わせて身体を動かすことをベースに、自分の身体を感じるために、ビームにブロックを置き“またぐ”動作を入れてみました。スピードを加減してゆっくりした動作でバランスをとることは見た目以上にむずかしいことです。

また、高いところから、丸いフープの中に飛び降りる設定も取り入れました。着地点を目掛けてジャンプすることは、子どもなりに慎重さが求められ、身体の真ん中あたりに何かを集中させなければなりません。跳んだ後のため息がそれを物語っています。

11月は、より身体を意識し感じられるように、“ぶら下がり”を入れようと思います。自分の重さを感じ?!身体を感じ、上手に身体を操れるようになっていくことが、心を操る力にもつながっていきます。力加減や気持ちのコントロールが上手になっていけるように、いろいろな動きを経験してほしいと思います。

プリンクラスの10月あれこれ



プリンクラスでは、秋からホールでリズム遊びの活動を取り入れました。
ピアノの音に合わせて、歩いたり走ったり、ピョンピョン飛んでみたり。
初めてのことにちょっぴりドキドキの子ども達です。楽しい雰囲気を感じながら、これからも、たくさんたくさん身体を動かしていきたいと思っています。

また『今月のうた』では、2カ月続けて、手遊びを取り入れています。みんなリーダーの手の動きをよ〜く見て、一生懸命真似をしようとしてくれます♡

11月のうたは“まつぼっくり”です。日に日に寒くなってきますが、

今月も元気に唄いましょう!



保育所等訪問支援の10月

10月は、どちらの園も運動月間!でした。プレイデーと銘打っての運動会、天候に左右されながらもパワフルに突き進んでいく先生方に、まずは脱帽です。その勢いが子ども達にも伝わっていました。集団での生活ですが、訪問する私たちは、その子の一挙一動に目を向けています。“がんばろう”“真似しよう”“合わせよう”とする姿、“ここは難しいから飛ばしちゃおう”とする賢さ、そこにちょっとお手伝いをしています。自分からやろうとしたことは、ちょっと目をかけ、手を差し伸べて成就させたい。あきらめそうになったときは、少々お膳立てをしてでも、「できたね」と笑ってほしい。園の先生方とそんな話をたくさんした10月でした。

放デイのひと一言



スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、秋が深まっていますね。

放デイでも仲間の深まりを感じます。“一緒に”ということが増えています。

一緒に“さぼねっとまつり”の看板や飾りを作ったり、おやつ準備で一緒に机を運んだり、一緒におしゃべりをしたり、一緒に宿題をしたり、一緒に本を読んだり・・・曜日ごとにみんなが兄弟姉妹みたいです。

おやつ時間、友達ががんばって食べている様子を見て「ぼくも食べてみる」と挑戦する子。「困っている人がいたら助けるんだ」と言ってテーブル運びを手伝う子。ゼリーのふたを開けられない子に「やってあげるよ」と手伝ってあげる子。一緒にやりたいけど上手く伝えられなくて、揉めごとになったり、仲良しゆえに戦ってしったりする二人の間に割って入って止めてくれる子。自分の好きなことに没頭していた子が、ある日、お友達を追いかけて遊んでいました。

仲良く遊んだり、けんかしたり、泣いたり笑ったり、にぎやかな放デイの時間です。

風邪をひかないように、手洗いうがいをしっかりして、元気に過ごしましょう！

ハンカチ、忘れないでね。



レクチャー OF あんず2 を開催しました。

10月2日（月）に、立教大学の石幸二先生をお招きして、保護者の皆さん向けの講演会を開催しました。児童、放デイ含め30名余のお母さんお父さん方の参加がありました。

今回は『その時々親子関係ー就学前から小学校卒業までの時期ー』というテーマでの講演でした。

まずは、スキンシップをベースに、人を信じること、信じてもいいんだと思うこと。「ダメ・チガウ・マッテ」の前に「止められて偉いね・そっちだと思ったんだ、すごいね・座れたんだ、偉いね」と声をかけられたら関わりの好循環が始まる。子どもの特性を見定めて、課題ばかりでなく強みを見つけ活かしていく。小さい頃から体験を豊かに、見ること見分けること、聞くこと聞き分けることをたくさん経験してほしい。そして、10～14歳くらいまでに、まわりに合わせて自分にブレーキをかけられるように、上手にハンドルさばきができるように。そんな話が実際のエピソードを交えて展開していきました。

「今日から関わり方を見直していこうと思いました」「もっと深めた話を聴きたい」「シリーズでやってほしい」「難しい行動への対処方法は？」など、参加されたみなさんから、いろいろな感想ご意見をいただきました。次回以降に活かしていきたいと思います。

☆お礼☆

おもちゃや文房具、災害用グッズ、マグカップをいただきました。遊びや制作の時間が充実します。ちょっとした備えが安心に繋がります。マグカップは、放デイのおやつに欠かせないグッズです。

敷地のフェンスをお父さんに直していただきました。おまつりに間に合い、本当に助かりました。みなさん、いつもありがとうございます。温かくなった気持ちを、ますますあんずに注ぎます！

